

2022年7月3日 午前礼拝
「エペソでのパウロの伝道Ⅱ」 説教:大木英雄牧師

【引用聖句】使徒 19:9~20

- 9 しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。
- 10 これが二年の間続いたので、アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。
- 11 神はパウロの手によって驚くべき奇蹟を行われた。
- 12 パウロの身に付けている手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病気は去り、悪霊は出て行った。
- 13 ところが、諸国を巡回しているユダヤ人の魔よけ祈祷師の中のある者たちも、ためしに、悪霊につかれている者に向かって主イエスの御名をととなえ、「パウロの宣べ伝えているイエスによって、おまえたちに命じる」と言ってみた。
- 14 そういうことをしたのは、ユダヤの祭司長スケワという人の七人の息子たちであった。
- 15 すると悪霊が答えて、「自分はイエスを知っているし、パウロもよく知っている。けれどおまえたちは何者だ」と言った。
- 16 そして悪霊につかれている人は、彼らに飛びかかり、ふたりの者を押さえつけて、みなを打ち負かしたので、彼らは裸にされ、傷を負ってその家を逃げ出した。
- 17 このことがエペソに住むユダヤ人とギリシヤ人の全部に知れ渡ったので、みな恐れを感じて、主イエスの御名をあがめるようになった。
- 18 そして、信仰に入った人たちの中から多くの者がやって来て、自分たちのしていることをさらけ出して告白した。
- 19 また魔術を行っていた多くの者が、その書物をかかえて来て、みなの前で焼き捨てた。その値段を合計してみると、銀貨五万枚になった。
- 20 こうして、主のことばは驚くほど広まり、ますます力強くなって行った。

【説教要約】

使徒 19:9, しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。

使徒 19:10, これが二年の間続いたので、アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。

マルコ 16:15, それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。

Ⅱテモテ 4:2, みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

使徒 19:11, 神はパウロの手によって驚くべき奇蹟を行なわれた。

使徒 19:12, パウロの身に着けている手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病気は去り、悪霊は出て行った。

パウロがみ言葉に従うと神様が働いて、驚くべき奇蹟が行われた。

使徒 19:13, ところが、諸国を巡回しているユダヤ人の魔よけ祈祷師の中のある者たちも、ためしに、悪霊につかれている者に向かって主イエスの御名をととなえ、「パウロの宣べ伝えているイエスによって、おまえたちに命じる。」と言ってみた。

使徒 19:14, そういうことをしたのは、ユダヤの祭司長スケワという人の七人の息子たちであった。

ユダヤ人の魔除け祈祷師たちもパウロが「イエス・キリストの御名によって命じる。悪霊よ、出ていけ」と命じると悪霊が出ていくので、自分たちも真似をしたくなったのです。「イエス・キリストの御名によって命じる、悪霊よ、出ていけ」と命令したのです。

使徒 19:15, すると悪霊が答えて、「自分はイエスを知っているし、パウロもよく知っている。けれどおまえたちは何者だ。」と言った。

悪霊はイエス・キリストを知っています、パウロも知っています、しかし魔除け祈祷師のことは知らない。

使徒 19:16, そして悪霊につかれている人は、彼らに飛びかかり、ふたりの者を押えつけて、みなを打ち負かしたので、彼らは裸にされ、傷を負ってその家を逃げ出した。

パウロはイエス・キリストの権威を知っている。イエス・キリストの権威を知っているパウロが「イエス・キリストの御名によって命じる。悪霊よ、出て行け」と言えば、悪霊は出ていきます。

しかしイエス・キリストの権威を知らない魔除け祈祷師が「イエス・キリストの御名によっ

て命じる。悪霊よ、出ていけ」と言っても悪霊は出ていきません。出ていくどころか、魔除け祈祷師にとびかかり、魔除け祈祷師を押さえつけ、魔除け祈祷師を打ち負かし、裸にし、傷を負わせた。

使徒 19:17, このことがエペソに住むユダヤ人とギリシヤ人の全部に知れ渡ったので、みな恐れを感じて、主イエスの御名をあがめるようになった。

パウロがみ言葉に従うと神様が働いて悪霊を用いて、エペソに住むユダヤ人もギリシヤ人もみな主を恐れ、イエス・キリストの御名をあがめるようになりました。葛西に住むノンクリスチャンは、誰も主を恐れていませんし、イエス・キリストの御名をあがめていません。

これはだれの責任でしょうか。これは私であり、クリスチャンの責任です。**もっと聖書を読んで私たちが信じている神様がどのように偉大な神様であるかを頭だけではなく神様の權威を知るように祈らなければなりません。**

使徒 19:18, そして、信仰にはいった人たちの中から多くの者がやって来て、自分たちのしていることをさらけ出して告白した。

使徒 19:19, また魔術を行っていた多くの者が、その書物をかかえて来て、みなの前で焼き捨てた。その値段を合計してみると、銀貨五万枚になった。

銀貨 5 万枚 = 100 万円以上

使徒 19:20, こうして、主のことは驚くほど広まり、ますます力強くなって行った。主の言葉が驚くほど広まり、ますます力強くなっていった。

サムエル記第一 23:1, その後、ダビデに次のような知らせがあった。「今、ペリシテ人がケイラを攻めて、打ち場を略奪しています。」

サムエル記第一 23:2, そこでダビデは主に伺って言った。「私が行って、このペリシテ人を打つべきでしょうか。」主はダビデに仰せられた。「行け。ペリシテ人を打ち、ケイラを救え。」

サムエル記第一 23:3, しかし、ダビデの部下は彼に言った。「ご覧のとおり、私たちは、ここユダにいてさえ、恐れているのに、ケイラのペリシテ人の陣地に向かって行けるでしょうか。」

サムエル記第一 23:4, ダビデはもう一度、主に伺った。すると主は答えて言われた。「さあ、ケイラに下って行け。わたしがペリシテ人をあなたの手に渡すから。」

サムエル記第一 23:5, ダビデとその部下はケイラに行き、ペリシテ人と戦い、彼らの家畜を連れ去り、ペリシテ人を打って大損害を与えた。こうしてダビデはケイラの住民を救った。

ダビデはサウルに命を狙われてサウルから逃げているのです。ペリシテ人はサウルと戦うためにイスラエルの領土のケイラに来ているのです。ペリシテ人がサウルを殺せばダビデはもうサウルから逃げなくてもすむのです。しかしケイラはイスラエルの領土なのです。ダビデはイスラエルのケイラがペリシテ人から攻められているので、神様に「自分がケイラに行きケイラを救うべきでしょうか」と神様に尋ねているのです。

ダビデの部下はサウルから命を狙われていることを知っています。むしろサウルがペリシテ人から殺された方が良いと思っています。どうしてサウルを助けるのですか？しかしダビデは神様の権威に従おうとしているのです。ダビデは自分の命よりも神様の権威を重んじているのです。

サムエル記第一 23:6, アヒメレクの子エブヤタルがケイラのダビデのもとに逃げて来たとき、彼はエポデを携えていた。

サムエル記第一 23:7, 一方、ダビデがケイラに行ったことがサウルに知らされると、サウルは、「神は彼を私の手に渡された。ダビデはとびらとかんぬきのある町にはいつて、自分自身を閉じ込めてしまったからだ。」と言った。

サムエル記第一 23:8, そこでサウルは民をみな呼び集め、ケイラへ下って行き、ダビデとその部下を攻めて封じ込めようとした。

サムエル記第一 23:9, ダビデはサウルが自分に害を加えようとしているのを知り、祭司エブヤタルに言った。「エポデを持って来なさい。」

サムエル記第一 23:10, そしてダビデは言った。「イスラエルの神、主よ。あなたのしもべは、サウルがケイラに来て、私のことで、この町を破壊しようとしていることを確かに聞きました。

サムエル記第一 23:11, ケイラの者たちは私を彼の手引きに引き渡すでしょうか。サウルは、あなたのしもべが聞いたとおりに下って来るでしょうか。イスラエルの神、主よ。どうか、あなたのしもべにお告げください。」主は仰せられた。「彼は下って来る。」

サムエル記第一 23:12, ダビデは言った。「ケイラの者たちは、私と私の部下をサウルの手引きに引き渡すでしょうか。」主は仰せられた。「彼らは引き渡す。」

ダビデは、神様に「サウルはダビデを殺すためにケイラに下って来るでしょうか」と尋ねています。それは、ケイラはサウルの領土です。ダビデはサウルの領土を守ったのです。普通であればダビデはサウルから褒めてもらうところです。「まさかサウルはダビデを殺すために来ることはないですよ」と神様に尋ねているのです。

それからダビデは、「ケイラの者たちは私と私の部下をサウルに引き渡してサウルに殺させることはないでしょうね」と神様に尋ねています。ケイラはダビデによって救われたのです。「まさか自分たちを救ってくれた人たちをサウルに殺させるようなことはありませんよね？」と神様に尋ねています。ダビデはどこまでも神様の権威に従おうとしています。

神様は、「ケイラの人たちはダビデとその部下をサウルに引き渡す」と言われました。ケイラの人たちはダビデとその部下をサウルに引き渡さなければ自分たちがサウルに殺されるので、自分たちの命を守るためにダビデとその部下たちをサウルに殺されることを選んだのです。ダビデは自分の命よりも神様の権威に従ったのです。私たちも自分の命よりも神様の権威に従うことを選びましょう。

サムエル記第一 23:13, そこでダビデとその部下およそ六百人はすぐに、ケイラから出て行き、そこここと、さまよった。ダビデがケイラからののがれたことがサウルに告げられると、サウルは討伐をやめた。